

【1】診療及び保健予防事業については全病院、診療所において実施しており、入院施設をもたない診療所は法人のネットワークを活用して入院先を確保し、入院治療を行った。4病院で協会けんぽの生活習慣病予防健診の受託医療機関であり、労働安全衛生法に基づく雇用者健診等を実施している。詳細は下記のとおりである。

項目 / 年度		2023年度
外来	患者件数	398,318
	延患者数	538,654
	1日患者数	2,056
在宅	訪問診療	26,476
	管理患者数	1,725
	在宅時医学総合管理	2,080
入院	患者件数	18,531
	延患者数	227,408
	1日患者数	621
透析	外来	12,965
	入院	1,945
手術	全件数(うち全麻件数)	3,657 (1,924)
	外科	1,069 (793)
	整形外科	1,386 (883)
	産科	120 (0)
	婦人科	129 (77)
	耳鼻咽喉科	39 (19)
	眼科	525
	皮膚科	0
	内科	319 (128)
	泌尿器科	70 (24)
	その他検査等	0
	病理解剖検査数	8
分娩	分娩件数	236
労災	外来患者数	7,569
	入院患者数	292
特診	整形外科	1院所/39人
	心臓	5院所/123人
	眼科	1院所/43人
	甲状腺	4院所/262人
	その他	2院所/238人(胃Fs等)
健診	成人病健診/特定健診	15,574
	母親教室	0回/0人
	安産教室	0回/0人
	被爆者健診	47
	乳児検診	605
	企業健診	12,504
	政府管掌健康保険健診	7,996
	学校健診	2,463
	学校健診(側わん)	780
	学校健診(耳鼻科)	566

【2】生活困難者のための、無料又は低額な料金で診療等を行う事業については、全ての病院・診療所で行なった。法人全体では、生活保護と無料・低額診療の患者の合計が総患者数の17.0%である。詳細は下記のとおりである。

院 所	2023年度					
	(2023年4月 ~ 2024年3月)			再掲件数		
	件数	日数	減免金額	新規	就援	
1 中央病院	入院	252	6,361	23,652,767	141	5
	外来	505	4,077	20,162,868	123	44
	小計	599	10,438	43,815,635	264	44
	10条クリニック	110	912	1,875,600	46	18
2 札幌病院	入院	89	3,388	9,976,044	49	15
	外来	889	6,064	14,451,716	318	434
	小計	933	9,452	24,427,760	367	438
3 西区病院	入院	69	4,970	10,821,561	50	0
	外来	47	285	1,036,322	20	10
	小計	111	5,255	11,857,883	70	10
	ひだまりクリニック	70	575	1,219,030	22	6
4 苫小牧病院	入院	20	885	1,903,474	5	0
	外来	224	1,668	4,297,472	51	27
	小計	228	2,553	6,200,946	56	27
5 ぽぷらクリニック		59	343	945,500	21	4
6 札幌クリニック						
7 月寒ファミリークリニック		14	39	45,710	7	9
8 平和通クリニック		41	284	1,522,340	11	3
9 もみじ台内科		22	200	791,750	6	0
10 みなみ診療所		18	191	294,380	3	3
11 当別診療所		18	201	1,212,730	6	
12 小樽診療所		47	467	1,384,750	8	6
13 余市診療所		19	192	269,970	2	7
14 黒松内ブナの森診療所	入院	17	354	648,198	0	0
	外来	68	1,028	1,575,850	6	0
	小計	68	1,382	2,224,048	6	0
15 室蘭診療所		20	158	491,710	2	0
16 厚賀診療所		28	453	792,770	3	0
17 浦河診療所		96	962	1,963,570	25	42
18 上砂川診療所		42	458	1,578,300	7	0
19 芦別診療所	外来	21	187	741,310	7	0
20 老健柏ヶ丘	介護	6	791	1,512,157	5	0
21 西区介護医療院	介護	0	0	0	0	0
合 計	入院	447	15,958	47,002,044	245	20
	外来	2,358	18,744	56,653,648	694	613
	介護	6	791	1,512,157	5	0
	総計	2,570	35,493	105,167,849	944	617

* 統計件数は一人が入院・外来と両方で利用された場合は1件とする

2023年度 無料低額診療 統計

1. 保険	2023年度	
	件数	構成比
国保	1,073	41.8%
短期保険証	0	0.0%
資格証明証	0	0.0%
社保本人	463	18.0%
社保家族	383	14.9%
後期高齢者	634	24.7%
無保険	11	0.4%
その他	0	0.0%
介護保険	6	0.2%
合計	2,570	100%

2. 適用区分	2023年度	
	件数	構成比
1.無料診療	8	0.3%
2.一部負担金の全額免除	2,492	97.0%
3.一部負担金の一部免除	70	2.7%
合計	2,570	100%

3. 申請理由	2023年度	
	件数	構成比
1.低所得	1,812	70.5%
2.失業・倒産	13	0.5%
3.ホームレス	2	0.1%
4.病弱	0	0.0%
5.DV被害者	2	0.1%
6.外国人	13	0.5%
7.人身取引被害者	2	0.1%
8.就学援助世帯	619	24.1%
9.その他	107	4.2%
合計	2,570	100%

4. 新規利用者数	2023年度	
	件数	
	944	

5. 性別	2023年度	
	件数	構成比
男性	1,127	43.9%
女性	1,443	56.1%
計	2,570	100%

6. 年代	2023年度	
	件数	構成比
00代	112	4.4%
10代	176	6.8%
20代	83	3.2%
30代	179	7.0%
40代	319	12.4%
50代	376	14.6%
60代	395	15.4%
70代	553	21.5%
80代以上	377	14.7%
計	2,570	100%

7. 世帯	2023年度	
	件数	構成比
1人世帯	869	33.8%
2人世帯	682	26.5%
3人世帯	412	16.0%
4人世帯	311	12.1%
5人以上世帯	296	11.5%
計	2,570	100%

【3】 第一種助産施設の運営については、札幌市内 4 箇所の病院の一つとして、経済的困難が理由で出産費用を準備できない方の分娩を取り扱った。入院施設のない市町村からも受け入れを行った。2023 年度は 236 件を取り扱った。同病院は小児科の入院施設も有しており、疾病や障害のある新生児の一時対応を行い、周産期医療の一端を担っている。

【4】 救急医療については、中央病院が 2 次救急指定病院に参加し、2023 年度 5,547 台の救急車を受け入れた。札幌病院は救急医療体制における小児科に関わる輪番制に参加する医療機関として継続している。

【5】 休日・夜間等の医療の供給については、4 病院 6 診療所が夜間休日当番病院の輪番制に参加し、休日や夜間の医療供給を行った。また、2 病院・13 診療所において夜間診療を行い、日中の通院が困難な方の受診機会を確保した。

- 【6】災害医療については、中央病院が丘珠空港事故救急対応病院、札幌市の災害時基幹病院となっている。
- 【7】へき地医療については、厚賀診療所が引き続き北海道のへき地診療所に指定されている他、北海道緊急臨時的医師派遣事業に参加し、平取町国民健康保険病院へ医師を派遣した。
- 【8】難病者に対する継続的な医療については、財団法人北海道難病連が行なっている北海道からの委託事業「難病医療・福祉相談会」に継続的に医師を派遣している。
- 【9】卒後臨床研修指定病院の取り組みについては、1997年より臨床研修病院の指定を受けており、2023年度は14名の初期研修医の受け入れを行った。中央病院が基幹型となり、札幌病院・西区病院・苫小牧病院など12病院で協力型、診療所など21施設が協力施設となっており、北海道における医師養成の一翼を担っている。
- 【10】介護及び介護予防事業として老人保健施設柏ヶ丘を運営しており、2023年度の入所者数は延べ24,562人、短期入所の入所者数は延べ1,546人。病院での入院治療と在宅療養を橋渡しし、切れ目のない一体的なサービスを提供した。認知症対応型通所介護と通所リハビリテーションの2023年度延べ利用者は、それぞれ1,915人、10,215人である。当法人の老人保健施設では、社会福祉法に基づく生計困難者に対して、無料または低額な費用で介護老人保健施設を利用させる事業を行なっている。また、低所得者でも入所できるよう、保険の効かない利用料の部分を低く設定している。2023年度は生活保護受給者と無料・低額診療の利用者を合わせると、入所者の16.7%である。
- また、医療の必要とする要介護者の長期療養・生活施設として2020年10月より西区病院の1病棟を転換した介護医療院には、延べ14,440人を受け入れた。
- 【11】病後児デイサービス事業については札幌病院に附設して札幌市の子育て支援事業である病後児デイサービス事業を勤医協菊水こどもデイサービスセンターで運営している。2023年度は延べ197人の児童が利用した。
- 【12】衛生検査所の設置については、病理検査を扱っており、手術中の迅速病理診断も行い臨床機能の一部となっている。病理科の医師と研修医が合同で臨床病理カンファレンスを行い、臨床研修病院の機能を補完している。
- 【13】健康予防に関する知識の普及、啓蒙活動については、すべての病院・診療所で地域住民を対象とした無料の健康相談会を開催し、健康教育や保健予防の知識の普及、医療相談などを行った。2023年度は341回実施し、4,335人が参加した。内容は病気の予防、治療法、医療制度の理解の促進などである。講師は、医師、看護師、リハビリ技士、栄養士などの医療技術者やソーシャルワーカーが務めた。
- 【14】医療・福祉に関する調査研究については、日常の診療で得られた知見や独自の調査活動の成果をまとめ学会や研究会などで発表を行った。大学病院や医学部での先端研究と異なり、患者の生活や労働と疾病の関係、生活の質（QOL）の向上のためのケアなどを研究の対象としている。勤医協医学雑誌や、勤医協看護雑誌も発行し、研究活動の成果を広く普及すると共に後継者の教育に活用した。研究にあたっては、患者の人権を尊重し、医療・生命の倫理を重視している。